

BC-700は、電話用のモジュラーコネクタの内部にUHF発信機を組み込んだ、電話用発信機です。電話回線を流れる電気を電源として利用する為、電池などは不要です。

接続は、壁のモジュラージャックでも電話機側でも構いません。短いモジュラーケーブルが付属しますので、壁や電話機に付いているモジュラーコネクタを外し、BC-700をセットし、短いモジュラーケーブルを壁や電話機のモジュラージャックにはめ込みます。

■ADSL回線の場合

ADSL回線の場合は、電話線がスプリッターで電話に向かう(分岐電話線)とPCに向かう線(分岐PC線)に分かれます。この電話分岐線(右図の太線)にBC-700をセットします。分岐PC線側に付けると、BC-700が機能しないあるいはPCでのネット接続に支障が出ます。

スプリッター一部で使用されているモジュラーコネクタは、RJ-11と呼ばれている規格でBC-700と同じ為、間違えて接続してしまう可能性がありますので、ご注意ください。

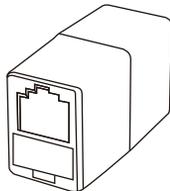
スプリッター一部にはPHONEとMODEMの記載がありますが、PHONEのRJ-11モジュラーコネクタに接続されているのが分岐電話線で、MODEMのコネクタに接続されているのが分岐PC線です。

■光ファイバーの場合

光回線の場合は、光電話ルーターで電話に向かう線(分岐電話線)、PCに向かう線(分岐PC

モジュラーコネクタ型 UHF電話用発信機

BC-700

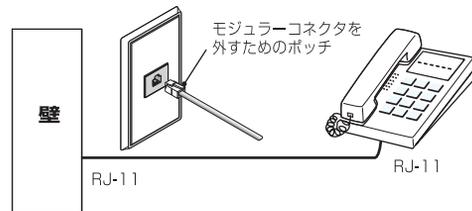


BC-700 製品仕様

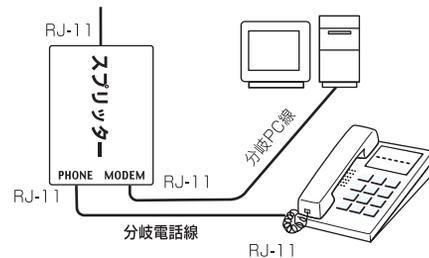
- 外寸/16(17)×23×37mm
- 重量/本体9g・モジュラーケーブル3g
- 電源/不要
- 送信チャンネル/UHF帯A・B・C
- 製品構成/本体・モジュラーケーブル

線)に分けられます。光でTVの配信をされている場合は、テレビに向かう線(分岐TV線)もあります。ADSLの場合と同様に、BC-700を付ける事が出来るのは分岐電話線です。なお、分岐電話線にはRJ-11、分岐PC線にはRJ-45のモジュラーコネクタが用いられてますが、BC-700はRJ-45には付きません。

アナログ回線の場合



ADSL回線の場合



光ファイバー回線の場合

